

日々の授業にプラスする。アイデア共有マガジン

情報科+ PLUS

ICT-EDUCATION WITH TEACHER

NOV
2014
No.003

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

④ 日本文教出版

ラ イフデザイン教育。これは品川女子学院が掲げる教育目標のひとつである。「世の中が大きく変わるなかで、教育も変わりつつあります。こんなときだからこそ、『新しい授業モデル』をつくっていきたい。」世界の第一線で活躍する人物を招き特別講座を実施したり、タブレット端末をいち早く導入したりするなど、先進的な取り組みで知られる品川女子学院。教育界のみならず、経済界やメディアにも注目される数々の取り組みのなかで、情報社会に関わる学習をリードするのが、情報科主任の酒井春名先生である。「昨年、アップルのA*DEに参

加しました。そこで、世界の錚々たる教育者たちの考えに触れ、同時に、日本の教育を外から見れたことは、とても大きな財産になっています。」

いまのままの教育ではいけないと考えた酒井先生は、社会に広くアンテナを張り、引っ掛かるものがあればどんな授業に取り入れていく。それゆえ「授業モデル」は常にアップデートされる。ヤフーとコラボしたサイト制作やiPhoneアプリの開発、慶應義塾大学SFCで教授を務めたプロダクトデザイナー坂井直樹氏を招いた「デザイン思考授業」など、その取り組みは枚挙に暇がない。「情報」のシラバスには、教科

書ベースの座学に、動画(CM)制作やアプリ制作、社会人を前に行う実践的なプレゼン実習などが入り込められる。「子どもたちが学校を巣立って10年後の世界はどんな社会になっているのか。そこから逆算して、いま学ぶべきことを考えます。」

酒井先生の考える「新しい授業モデル」は、生徒と社会人との本当の意味でのコラボレーションの場を設定することではじめて実現される。「穴埋め問題が解けるだけでは、近い将来、活躍できる場はありません。課題を発見し、解決する力の重要性が増しています。」

たとえば、企業とのコラボでは、協働する企業を子どもたち自身に見つけさせる。自分が社会にどう貢献できるのかを考えさせ、社会との接点を見つける場として機能する。大人顔負けの厳しい課題だが、この試練が本当の意味での問題解決力を育成する。「いまこそがベストでなければならぬ」と、酒井先生は自らにも厳しいノルマを課す。

そんな酒井先生のもとには生徒とコラボしたいという企業の要望が後を絶たない。10年後の目標であったはずの生徒の姿は、もうすでに酒井先生の目の前に現れはじめている。

酒井先生の準備室

酒井先生の必需品

もともと家庭科を指導されていた酒井先生。住居美学への関心も高く、カバンには愛用のカメラが。気になるアート、デザインを見つけると撮らずにはいられない。

企業との商品開発

企業とのコラボレーションによって、生徒たちが実現した商品群。生徒の「課題解決能力」に一目置き、コラボしたいという企業は後を絶たない。

ADEメンバーの証(楯)

ADEはアップルが支援する教育ネットワーク。1年に1度開かれる「ADE Institute」には世界中から優れた指導者が集まる。参加するにはアップルの推薦と、課題審査での合格が求められる。

紙幅の都合で紹介しきれなかったことは、日本文教出版のWebサイトで公開します。ぜひお越しください。

Art Direction / Eishi Takeda (hooop) Illustration / Hankiti Maeda Photo / Makoto Shima, Satoru Yoshida

情報科+ No.003

日文教育資料 [情報]

平成26年(2014年)11月20日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33255

連載企画

情報の流儀 | No.003 |

授業の流儀、先生としての流儀、教科「情報」に対する流儀を、酒井春名先生に伺いました。

お話を
伺ったのは

品川女子学院
酒井春名 教諭
Haruna Sakai

「28歳になったときに活躍できる人材を育成する」ことを目標とし、実社会を学びの舞台に据えた取り組みを数多く行う。情報科主任として「社会と情報」の指導に力を入れている。



書ベースの座学に、動画(CM)制作やアプリ制作、社会人を前に行う実践的なプレゼン実習などが入り込められる。「子どもたちが学校を巣立って10年後の世界はどんな社会になっているのか。そこから逆算して、いま学ぶべきことを考えます。」

酒井先生の考える「新しい授業モデル」は、生徒と社会人との本当の意味でのコラボレーションの場を設定することではじめて実現される。「穴埋め問題が解けるだけでは、近い将来、活躍できる場はありません。課題を発見し、解決する力の重要性が増しています。」

たとえば、企業とのコラボでは、協働する企業を子どもたち自身に見つけさせる。自分が社会にどう貢献できるのかを考えさせ、社会との接点を見つける場として機能する。大人顔負けの厳しい課題だが、この試練が本当の意味での問題解決力を育成する。「いまこそがベストでなければならぬ」と、酒井先生は自らにも厳しいノルマを課す。

そんな酒井先生のもとには生徒とコラボしたいという企業の要望が後を絶たない。10年後の目標であったはずの生徒の姿は、もうすでに酒井先生の目の前に現れはじめている。

酒井先生の必需品

もともと家庭科を指導されていた酒井先生。住居美学への関心も高く、カバンには愛用のカメラが。気になるアート、デザインを見つけると撮らずにはいられない。

企業との商品開発

企業とのコラボレーションによって、生徒たちが実現した商品群。生徒の「課題解決能力」に一目置き、コラボしたいという企業は後を絶たない。

ADEメンバーの証(楯)

ADEはアップルが支援する教育ネットワーク。1年に1度開かれる「ADE Institute」には世界中から優れた指導者が集まる。参加するにはアップルの推薦と、課題審査での合格が求められる。

日本文教出版 株式会社 http://www.nichibun-g.co.jp/

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18 7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

安

倍内閣が成長戦略の柱と位置づける「攻めの農業」。^{*}農林水産物・食品の輸出額を'20年までに1兆円にすることを政府目標として掲げるが、かたや農業の現場に目を向ければ、農家は減少の一途を辿り、従事者の高齢化・後継者不足は危機的な状況にある。さらに^{*}TPP参加が見込まれるなか国際競争力の強化が喫緊の課題となるなど、農業が直面するハードルは想像以上に高い。そんな農業の諸問題を解決する策として、いまもつとも期待を集めているのがICTである。

ICTと農業の融合、いわゆる「スマートアグリ」には、富士通やNECなどに加え、パナソニックやトヨタ自動車など多くの企業が参入し、それぞれがその可能性を探っているが、国内シェア5割超のスナック菓子メーカー「カルビー」は、ポテトチップスなどの原料「ジャガイモ」の生産に、かねてからICTを活用してきた。

そのカルビーで、ジャガイモの調達を一手に引き受けるのがグループ企業である「カルビーポテト」。^{*}'80年にカルビーの原料調達部門が分離独立する形で設立され、現在は原料の調達から貯蔵、運搬、商品開発・製造などを手がけている。同社で、ジャガイモ栽培技術の研究・開発を行う馬鈴薯研究所の小野豪朗氏にお話を伺った。

を農家に通知するなどします。

カルビーポテトが仕入れるジャガイモは年^{*}23・5万トン（H25年度）。北海道をはじめ、九州や関東の産地で2000近い契約農家によって収穫されている。同社が仕入れるこの量は、^{*}日本で収穫されるジャガイモの約1割にあたり、これがカルビーのポテト系スナックへと生まれ変わる。

日本は生のジャガイモの^{*}輸入を規制しており、仮にジャガイモが不作となれば、本社への影響は計り知れない。同社がジャガイモを確保できるか否かは、まさにカルビーの生命線となっている。

Q ICT活用のむずかしさはどこにありますか？

北海道の畑は3000枚、面積でいえば5600haもあります。実

カルビーポテトが取り組む 農業×ICT



1980年にカルビーの原料調達部門が独立し、誕生したカルビーポテト。'99年、東京から北海道・帯広に本社を移し、現在に至る。ジャガイモを調達し、カルビーの全国の工場にジャガイモを届けるほか、自社の帯広工場では「じゃがりこ」などの製造も行っている。



カルビーの商品には、ポテトチップスやじゃがりこなどの①ポテト系スナック、「フルグラ」などの②シリアル食品、「チートス」などの③コーン系スナックに分類される。カルビーの売上のうち、約5割をポテト系スナックが占める。なお、ポテトチップスは国内シェア約7割を誇る。



カルビーポテトが本社を置く北海道・十勝地方の農場。カルビーポテトが仕入れるジャガイモ23.5万トンのうち、北海道で収穫されるジャガイモは18.6万トン、そのうち10.2万トンがここの十勝地方で収穫される（データはすべてH25年実績）。



農場に設置したセンサーは、温度、湿度、降水量、風向き、風速、日射量など詳細なデータを集める。収集したデータは10分おきにサーバに送られる。集められたデータは、別に収集した生育データと照らし合わせて分析される。

▶ 日本文教出版のWebサイトで授業用スライドをダウンロードできます。

INTERVIEW

農業×ICTの最前線

カルビーポテトが描く 農業の未来

小野豪朗 氏

Takeaki Ono

カルビーポテト株式会社
馬鈴薯研究所

佐賀大学農学部応用生物科学科卒。原料生産も手がけるメーカーを希望し、カルビーポテトに入社。5年前より馬鈴薯研究所に所属。馬鈴薯研究所が担う研究分野は①品種開発と②栽培技術の開発の2つに分かれるが、小野氏は後者の栽培技術の開発研究を行っている。

Q ICTを活用してどのような取り組みをされていますか？

ジャガイモの難敵は「気候」と「疫病」です。そのため、センサーによる気象データを活用し、天候と生育の関係を解析したり、疫病の発生を予測するなどの栽培管理を行っています。

ここ北海道では全部で5つのセンサーを設置し、気象データを10分ごとにサーバに送ります。わたしたちは畑を所有し、直接栽培するのではなく、約1000の農家と契約し、畑ごと買い取ることでジャガイモを調達しています。そのため、データ解析から、たとえば疫病の発生が予想された場合は、農家の方々にメールを送り、対策をとってもらうなどのサポートを行っています。

Q なぜICTを活用するようになったのですか？

畑にセンサーを設置したのが'08年です。それまでは、契約農家の経験や勘がすべてで、それらの知見を共有できないかと考えたのがきっかけです。実は、日本のジャガイモ栽培技術は、世界に比べ遅れています。欧米でイモはいわば主食で、長い歴史のなかで培われた技術があります。日本の主食はお米でその技術は世界トップレベルでも、ジャガイモの歴史はそう長くありません。北海道は一毛作で仮に20年取り組んだとしても、たった20回分の知見しか得

は、先程お伝えした「施肥のタイミングや量」も、畑が3000枚あれば3000通りの対策が存在します。最終的な判断を下すのは農家です。つまり、ICTはあくまでもツールで、使いこなすのはわれわれ人間です。農家の方々にはその点も含めて周知し、ICTを最大限活用してもらえ、環境をつくるのが重要だと思っています。

Q ICTの活用について、今後の展望を教えてください。

広大な畑で1枚1枚の生育状況を把握することには限界があります。その解決策の一つとして期待しているのが、衛星から畑を撮影し、生育を管理するシステムです。小麦はそのシステムが一部実現していますが、それをジャガイモに応用できるかといえ、そうでもありません。ジャガイモでもそれができるように、ゆく

られません。気候も土壌も違う欧米の技術をそのまま取り入れることはできないため、欧米の技術を日本の風土に合う方法に変えながら、そこに、科学的な視点を持ち込むことで、少しでも契約農家をサポートできればという思いで取り組んでいます。

Q その効果は？

意外かもしれませんがジャガイモ栽培はとても難しく、その難しさを例えるなら10回やっても1度も満足のいく結果を得られないほどです。データを解析することで、収穫量は増えており、その手ごたえを強く感じています。わかりやすいところでは、ジャガイモは光が当たると緑色に変色し、ソラニンという有害物質を生成します。緑化するとその部分を削り落とす必要があり、手間もコストもかかります。この緑化を防ぐヒントがデータにあったのです。ジャガイモは種イモを土中に植え、^{*}培土します。そのとき、種イモの深さが培土から15cmより浅いと緑化し、17cmより深いと腐敗リスクが高まることわかりました。つまり、種イモは15〜17cmのわずかな2cmの間に植える必要があったのです。また、栽培をはじめて2カ月経ったとき、生育が適正か不良かの判断の分かれ目が、茎の高さ「20cm」という数値にあることもわかりました。仮に20cmに満たなければ施肥のタイミングや量

ゆくは自分の手で取り組みたいという想いがあります。

ポテトチップスを筆頭に、「じゃがりこ」や「じゃがビー」などポテト系スナックの販売が好調なカルビー。ジャガイモは他の作物に比べて手間も暇もかかる作物といわれるが、好調な販売を背景に、必要とされる量も現在の23・5万トンから、ここ4年で30万トンにまで増える見込まれている。小野氏に課される責任は、ますます大きくなっていく……。「カルビーには農家と農家、農家と会社を結ぶフィールドマンと呼ばれる人間がいます。現職の前はフィールドマンでしたが、情報を伝えることで農家の方々に喜ばれたことはいまでも忘れられません。いまはそれをICTの力で効率よくできるうえ、農家の方々に喜んでもらえる以上、どんな苦労も苦労ではありません」。

輸入を規制：疫病の流入を阻止するため。

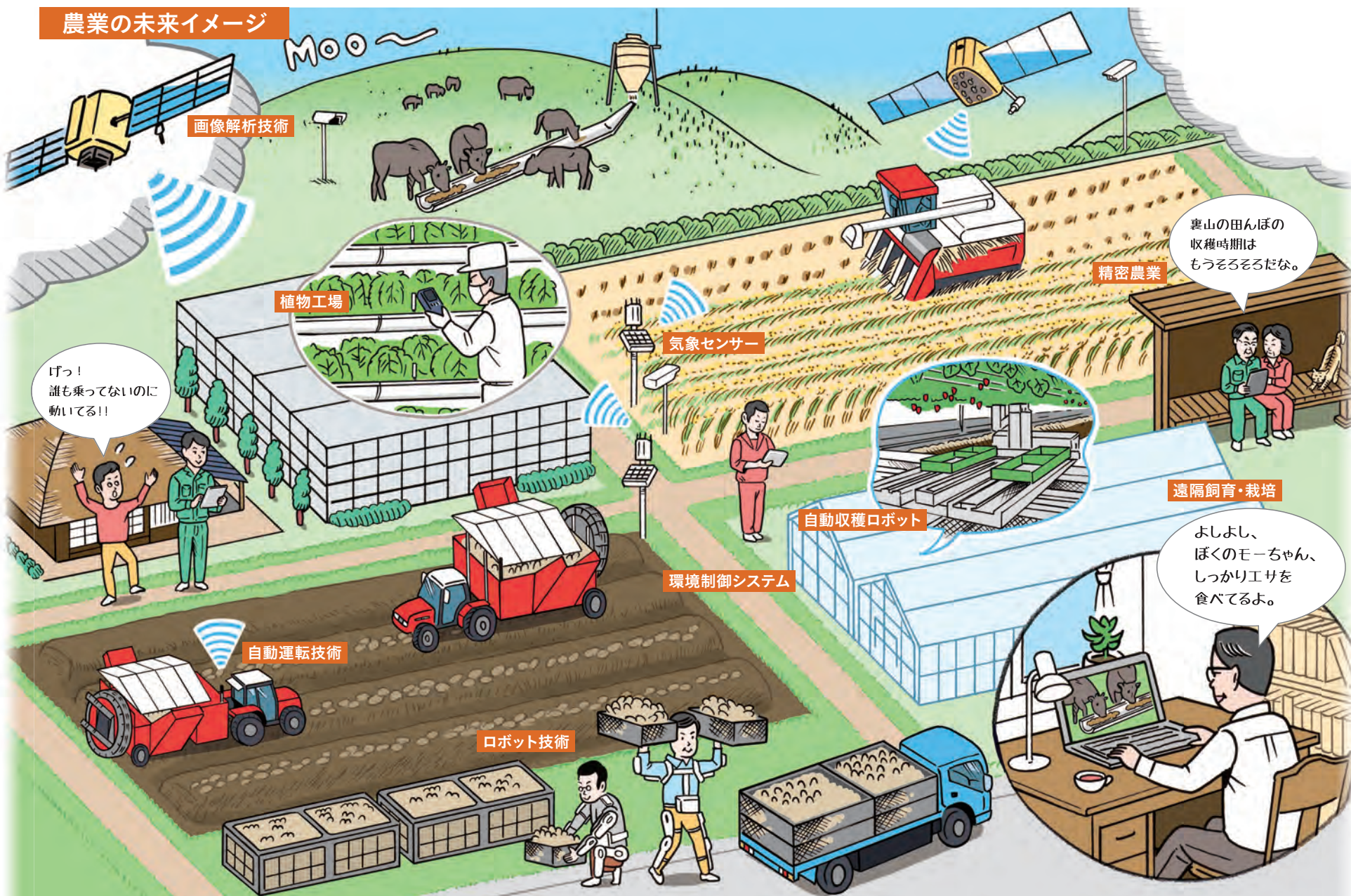
日本で収穫されるジャガイモの量：250万トン（H24年度）。

培土：土を寄せること。

スマートアグリ：造語「スマートアグリカルチャ」の略。植物工場に代表される、ICTを活用した農業やその技術を指して用いられる。

TPP：環太平洋戦略的経済連携協定の略。農産物などの関税撤廃を原則とする経済的な枠組み。交渉には参加するが、正式な参加はまだ決まっていない。

農林水産物・食品の輸出額：2012年時点での、農林水産物・食品の輸出額は約4500億円。



イラストは農林水産省「スマート農業の実現に向けた研究会」発表資料などをもとに作成。

スマートアグリって何？

「スマートアグリという言葉の定義は明確ではありませんが、ICTを活用した農業、またはその技術を指して使われます。その見本となるのがオランダで、ICTを使って温度や湿度などの環境を自動制御するハウス栽培が根づいています。その結果、耕地面積が日本のわずか4分の1なのに、アメリカに次ぐ世界第2の農業大国になっています。日本でもこれまで取り組みがなかったわけではありませんが、ICTが発展したことで改めて注目を集めているんだと思います」(木村さん)。

と、それも自動化されて機械がすべてをやってくれるかもしれません。」

と同時に農業ならではのむずかしさも教えてくれました。

「農業は一朝一夕にはいかない、本当に奥の深い世界です。ICTを活用しても今日、明日すぐに成果が出るものではありません。先程のような世界を築くには、データを集めるなど根気のある取り組みが必要になってきます。」

農業にとってこれから大切なのは、『失敗しない環境』をつくれるかどうかです。なぜなら、ICTが発展することで、農業にもより科学的なアプローチが浸透していきます。これまで^{第3章}農家といわれる人々の優れた勘や経験に頼っていた部分が、科学的な取り組みで「見えるもの」になります。その優れたノウハウを誰もが共有できるようになれば、経験のない若い人でも農業に取り組みやすくなるはずです。わたしたちがやらなければならないのはそうした世界をつくりだすことだと考えています」

木村さん。

* 篤農家: とくのか。農業に熱心で、研究心の高い人のこと。

CTが発展すれば、農業をやりたいという人はもっと増えていくと思います」と語るのは富士通の木村さん。

農業といえば、厳しい自然のなかで、収穫できるかどうかかわからない作物を相手に、地道な取り組みが求められるキツイ仕事事実、農業をやるうという人は少なく、農業に携わる人の高齢化と減少はかつてないほど深刻な状況です。それなのになぜ？

「5年ほど前、法律が改正され一般の企業も農業に関わりやすくなりました。わたしたちがはじめた当時はまだまだ少ない状況でしたが、いまでは多くの企業が進出しています。取り組む領域が異なりますが、各社が強みを持ち寄り、協力できれば、農業にも新しい世界が拓けてくると思います」。

木村さんのいうように、富士通のほかに、NECやパナソニックなどの大手電機メーカーやトヨタ自動車などさまざまな企業が農業に進出しています。逆を言えば農業にそれだけの可能性があるからだといえます。では、具体的にどんな世界が実現するのでしょうか。

「たとえば、農家の人がセンサーを身につけてビニールハウスに入れば、作物の生育状況や周辺の環境などあらゆるデータを瞬時に集め、それをネットワーク上のサーバが解析して、次に何をやるべきかを示してくれるようになると思います。もしかする

*クラウド：クラウドコンピューティングの略。パソコンのハードウェア、ソフトウェアの機能を補完・追加するために、ネットワークを通じて提供するシステム、サービスのこと。

アルファヴィル

DVD発売中／4,800円＋税／紀伊國屋書店



© 1965 STUDIOCANAL – Filmstudio

人間らしい情報社会とは？

地球から遠く離れた星雲都市アルファヴィルでは、人工知能「アルファ60」がすべてを支配し、個人の自由は完全に剥奪されています。論理に従うことが絶対で、思想・感情は一切認められない。探偵の主人公レミーはアルファヴィルに侵入しますが、逮捕され、ア

ルフア60の尋問を受けることに……。人間と会話ができるまでに発達した人工知能と人間の違いはなにか。論理的吗かで物事のすべてを判断することができるのか。ネットいじめについて考えさせたり、人工知能を紹介する契機となる作品です(高谷)。

(ハル)

DVD発売中／3,800円＋税／バンダイビジュアル

見えない相手とのコミュニケーション

インターネットが普及する前の、パソコン通信を舞台に男女の恋愛をさわやかに描いた作品。文字だけによるやり取りから生じる誤解、見えない相手に対する心理的作用など、現代と比較して「情報技術の進展や情報モラル」を考へても面白いかもしれません。森田芳光監督らしい、静かな演出も秀逸です(清水)。



A.I.

ブルーレイ2,381円＋税／DVD1,429円＋税／ワーナー・ブラザース・ホームエンターテイメント

ロボット社会の光と影



S・キューブリックの原案を、S・スピルバーグ監督が映画化。感情をインプットされたロボットが育ての親(母親)の愛情を求め、人間になろうとする物語。感情を持ち得たロボットは人間と同じと言えるのか、感情のあるロボットに対して人間はどのような感情を抱くのかを、考えさせられる作品です(八百幸)。



茗溪学園中学校高等学校
大貫和則 教諭
Kazunori Onuki

'65年茨城県生まれ。「情報の科学」を指導。生徒には「自分で考え、判断できる人間になってほしい。そんな想いから「いま、情報社会のあり方について考えさせられる授業をつくる」ときが一番楽しい」。



東京都立小金井北高等学校
清水紀行教諭
Noriyuki Shimizu

'69年東京生まれ。「知識の習得ではなく、情報社会を生きていくうえで、いかに情報を活用し、創造していくか」。各単元で論理的思考力や情報発信力を意識した指導を行う。「情報の科学」を指導。



早稲田大学高等学院
八百幸大教諭
Hiroshi Yaoko

'71年東京生まれ。「社会と情報」を指導。能動的な学びを引き出すため、生徒には「手を動かし、頭を働かせる」ことを意識して指導する。目下プログラミングを通して新たな授業ができないか模索中。



八千代松陰高等学校
高谷真弓 教諭
Mayumi Takaya

'90年東京生まれ。情報技術は便利だからこそ、適切に扱う力が求められる。「精神力を涵養し、他者と協力して生きていける」人間性を育みたいと、情報倫理には特に力を入れて指導する。「社会と情報」を指導。

ナビゲーター

サロゲート

ブルーレイ発売中／2,381円＋税／発売：ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン



©2014 Buena Vista Home Entertainment, Inc.

自らの代わりに人型ロボットを遠隔操作し、あらゆる社会活動を行う未来社会。交通事故に遭っても、犠牲を払うのはロボットで、人間には安全な社会が訪れるはずだったが……。重要性を増すロボット技術を考えるとき、倫理やルール、コミュニケーションのあり方など、さまざまな視点を与えてくれます(大貫)。

プロジェクトX 挑戦者たち

100万座席への苦闘
～みどりの窓口・世界初 鉄道システム～
DVD発売中／1,900円＋税／NHKエンタープライズ

情報化のメリットを端的に伝える



© 2011 NHK

国鉄(現：JR)と日立製作所の技術者が、世界初のオンライン発券システムを実現するまでの苦労と、その成果を追ったドキュメンタリー。かつては職人芸ともいえる熟練の処理をもってしても、発券されるまでに半日要することもある発券業務。情報化のメリットを伝えるのに最適の教材だと思います(高谷)。

トロン・オリジナル

ブルーレイ発売中／2,381円＋税／ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン



© 2014 Disney

'82年作。特殊なレーザーでコンピュータ内に取り込まれた主人公が、擬人化されたプログラムと戦い、友情を交わします。「コンピュータの中はどうなっているの?」という子どもの夢を実現したような物語で、仕組み・原理に基づき擬人化・擬態化された描写も多く、それを読み解きながら観ても楽しい映画です(清水)。

CINEMA REVIEW

連載企画「授業のネタ帖」

情報科の先生が選ぶ

授業のためになる映画ガイド

情報科の先生にオススメしたい映画、観ておく(と授業(指導)のためになる作品を、情報科の先生に推薦していただきました。

マイノリティ・リポート

DVD発売中／1,419円＋税／20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン



©2013 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC. All Rights Reserved.

未来世紀ブラジル

DVD発売中／1,419円＋税／20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン

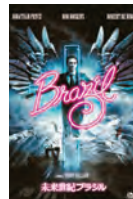
もし社会がコンピュータで管理されたら……

もし社会が、何をするにも手続が必要で、管轄外の仕事はやってはいけないし、やろうともしない人たちがばかりだったら……。たとえば、テロが起きても逃げるところかレストランで食事を続ける人々、たとえ暖房が壊れても、修理工として登録されていないと修理をしない腕のいい技術者。ありとあらゆるものがコンピュータで管理される社会を、鬼才・テリー・ギリアムが皮肉たっぷりに描きま

す。合理性を追い求めるあまり、感情の一切が無視され、俠気も認めない狂気の世界。科学の発展とともに合理的なもののしか認めなくなりつつある現代社会を風刺しているようです。合理化することが正しいのか、コンピュータは常に正解なのか、人と機械が共存するシステムとは、を考えさせられます。でも、所々にしか出ない役どころにロバート・デニロとは。なんとも贅沢! (高谷)



©2013 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC. All Rights Reserved.



トレードオフをどう考えるか――

映画の舞台は2054年のワシントンDC。そこでは予知能力者が凶悪犯罪を予知し、問題が起こる前に犯人を逮捕するというシステムが存在します。主人公のジョン・アンダーソンは犯罪予防局の捜査官。事件を未然に防ぐはずの彼が、ある日突然、殺人を犯すと予知されてしまい……。フィリップ・K.ディック原作、S・スピルバーグ監督、トム・クルーズ主演という豪華な顔ぶれの近未来SFサスペンス。街には虹彩認証用のカメラが張り巡らされ、街頭広告

には管理される」ことの危うさも感じます。現社会ではポイントカードなどで得られる経済的なメリットと個人情報提供とのバランスについて考えることが個々人に求められていますが、こうしたトレードオフを伴うシステムが社会全体の安全システムとして発展するとどうなるかは、生徒にも投げかけてみたい問題です(大貫)。



マネーボール

DVD発売中／1,410円＋税／ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント



©2011 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.

スポーツにおける統計学の活用

野球を統計学的に分析する手法「セイバーメトリクス」などを用いて、アメリカ・メジャーリーグの弱小貧乏球団を生まれ変わらせた実在の人物、ビリー・ビーンを題材にした物語。若くして同球団のゼネラル・マネジャーとなったビリーは、選手の評価や戦略の立案

にコンピュータを活用します。データベースがスポーツの分野でも活用されていること、大量のデータを科学的に分析することで新しい視点が見つかり、それが問題解決に役立つことなどを、野球チームの物語を通して伝えられる作品です(八百幸)。